

理工学メディアセンターニュース

No.17 2000.7

先月の入館者数
26,876人

7月の開館時間

カレンダーの見方

□	通常開館(月～金:8:45～21:00 / 土:8:45～18:00)
■	短縮開館(月～金:8:45～18:00 / 土:8:45～16:00)
□	閉館

2000年7月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

夏季長期貸出が始まります

返却期限が1ヶ月のもの 7月5日(水)～9月2日(土)

返却期限が2週間のもの 7月19日(水)～9月19日(火)

最終返却日は10月3日(火)です。

* 貸出冊数は通常通りです(学部生7冊、大学院生10冊、教職員30冊)。

* オーバーナイト扱い・特別貸出扱いのものは除きます。

また、他地区からの借用図書は所蔵地区の貸出規則に従います。

塾内他地区本の取寄せサービス停止

春学期末試験に伴い、塾内他地区メディアセンターからの現物借用サービスを停止いたします。

停止期間は7月8日(土)～7月24日(月)です。

ただし医学メディアセンター、山中資料センター、および白楽サテライトライブラリーからの取寄せは通常通り実施します。

NEW Databases

新しく3つのデータベースが全塾各地区からご利用頂けるようになりました。理工学分野には馴染みの薄いものですが、興味のある方はどうぞご利用ください。利用の際は下記のURLに直接アクセスするか、当センターのホームページ（<http://www.lib.st.keio.ac.jp/>）内のデータベース検索サービスをクリックし、サービス・メニューからお選びください。

1) 「日経 NEEDS」... 統計・数値データを探す

接続先 : <http://stat.keio.ac.jp/>

日本経済新聞社データバンク局が作成したマクロ経済データ・企業データ・地域データの時系列データベースで、慶應のITCが開発した社会科学情報検索システムというWeb版インターフェイスを介して利用できます。データの更新は年1度。結果のダウンロードも可能です。コードブックは当センターレファレンスカウンターで閲覧できますので、必要な場合はご利用ください。

2) 「Telerate Channel」... 統計・数値データを探す

接続先 : <http://www.sfc.keio.ac.jp/telerate/telerate.cgi>

「Telerate Channel」は米国のBridge社が提供するオンラインの市況情報データベースです。日本・米国の株価、マーケット情報、為替といった情報の検索が可能です。通信社が提供するニュース(英語)もリアルタイムで表示されます。はじめて使う際に簡単な手続きが必要です。手続きを含む使い方の説明は湘南藤沢メディアセンターのホームページ内の次のアドレスにまとめられていますのでご覧ください。

<http://www.sfc.keio.ac.jp/mhtml/db/telerate.htm>

(湘南藤沢キャンパス向けの説明も含まれていますのでご注意ください。)

3) 「NNA Power 国際ニュース&データベース」... 海外のニュースを探す

接続先 : <http://unvnnanet.iagas.com/nnanet>

Power ASIA, Power EU という2つのファイルからなり、主にアジア・ヨーロッパ各地から生のビジネス情報や速報ニュースを日本語で配信するサービスです。アジアの記事は1997年1月から、ヨーロッパの記事は1999年12月から検索できます。また、アジア・ヨーロッパ各国の通貨・為替動向・主要な株価指数といったデータも提供されています。本来は、海外に拠点を持つ企業や官公庁向けの有料サービスですが、将来を担う人材を輩出する教育機関に対して無料で公開されることになり、慶應でも全キャンパスから利用できる契約を結びました。

FirstSearch telnet 版終了のお知らせ

長年ご利用頂いてきたデータベース FirstSearch telnet 版は、6月30日をもってサービスを終了いたしました。また、すでに多くの方にお使いいただいている www 版の方は7月からバージョンアップし、大幅に改良されたインターフェイスと充実した機能を備え、使い易く生まれ変わりました。今後はぜひ www 版をご利用ください。

新しい接続先は下記のURLです。ブックマーク機能をお使いの方は変更をお願いします。

接続先 : <http://database.lib.keio.ac.jp/oclc/newfs-j.html>

新棟地下に新スペースが OPEN します

新棟地下 1 階のプレゼンテーションルーム、グループ学習室がよいよ 7 月から利用可能になります。利用のしかたを簡単にご説明します。

《 プレゼンテーションルーム 》

- ・ プレゼンテーション機器の使用を前提とした、教職員による研究会や集会、学部・大学院の授業などにご活用ください。定員は 18 名です。
- ・ 原則として事前に予約が必要。申込み責任者は教職員とします。
- ・ 利用時間は 9 : 00 ~ 閉館 30 分前までです。

《 グループ学習室 》

- ・ メディアセンター所蔵資料の利用を前提とした、教職員による研究会や集会、学部生・大学院生による自主的な研究会などにご活用ください。定員は 12 名です。
- ・ 原則として事前に予約が必要。申込み責任者は教職員・大学院生・学部生とします。
- ・ 利用時間は 9 : 00 ~ 閉館 30 分前までです。

各部屋の予約は新棟 1 階貸出・返却カウンターにて利用する日の 1 ヶ月前から受け付けます(電話予約×)。1 ヶ月前が休館日にあたる場合は次の開館日から受け付けを開始します。

その他の利用に関する詳細は新棟 1 階貸出・返却カウンターにお問い合わせください。

なお、現在のところはプレゼンテーションルームにまだ機器が導入されておりません。導入されるまでは上記の“機器の使用を前提”という条件は問いません。

1999 年度修士論文を配架しました

1999 年度修士論文の配架作業が完了し、利用できるようになりました。

ただし、現在のところ OPAC には 1998 年度分までしか登録されていないので検索はできません。また、修士論文は著作権上無断でコピーを取ることは禁止されています。コピーを取るにあたっては著者の許可書が必要となりますので充分ご注意ください。

CD-ROM 紹介「A.D.A.M. InterActive Physiology」

本館 1 階レファレンスカウンター前の端末で「A.D.A.M. InterActive Physiology」が利用できるようになりました。生理学学習教材で、内容は以下の 7 系に分かれています。グラフィックス・アニメーション・サウンド・ビデオ・クイズなどにより、本から得た知識がよりリアルで確実な理解になります。なお、解説を音声で聞きたい方は、カウンターでヘッドホンの貸出手続きをしてください。

- ・ Cardiovascular System (心血管系)
- ・ Muscular System (筋肉系)
- ・ Respiratory System (呼吸器系)
- ・ Nervous System (神経系)
- ・ Nervous System 2 (神経系 2)
- ・ Urinary System (泌尿器系)
- ・ Fluid, Electrolyte, and Acid/Base Balance (体液・電解質・酸塩基バランス)

説明会アンケートから

今年度も4月から6月にかけて、たくさんの方が研究室単位でメディアセンター利用説明会に参加されました。その数は6月末現在で68研究室417名に達しています。

参加した方には説明会が終わった後でアンケートにご協力いただきました。ここではアンケートの中から“説明会について改善して欲しい点”という項目に寄せられた声を集約してご紹介したいと思います。

- ・ 少人数でやってほしい。

説明会担当者としても最適人数は5～6名かなと感じています。人数の多い研究室には、なるべく数回に分けていただくようお願いしていますが、その場合さらに学部生と院生に分かれていただくとそれぞれに応じた説明がしやすくなります。

- ・ 説明会の時に使える端末が人数分あるとよい。

毎年必ず出るご意見です。端末だけで説明が済むのであれば何か良い方法がありそうですが、他にも覚えていただきたい資料やその配置場所等ありますので、現在は主にカウンター横にある検索コーナーの4台を使って、データベース毎に交代で参加者に検索していただく方法をとっています。

- ・ 冊子体よりも検索端末のほうから説明したほうが良いのでは？

確かに参加者の関心は端末のほうにあります。こちらとしては元の冊子体の仕組みを理解したうえで検索端末を使ってほしいと考えています。古い年代の文献を調べる際には冊子体に頼らざるをえない場合もあるからです。

- ・ 配布資料の大きさを統一してほしい。ひとつの冊子にしてもらおうと使いやすい。

これは改善の余地がありそうです。検討させていただきます。

- ・ 実際に論文を手にするところまで説明してほしい。

従来は会議室を使っての講義方式でしたが、最近は閲覧スペースやデータベース検索コーナーの一部を使っての実習方式にしています。自分で選んだキーワードから論文が探せるようになることに重点を置いて説明していますので、入手方法の説明が不十分だったかもしれません。

この他にもいろいろなご意見をいただきました。今後の説明会に活かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

アドレスが
変わりました

発行 慶應義塾大学理工学メディアセンター

riko-mcinfo@adst.keio.ac.jp (<http://www.lib.st.keio.ac.jp/>)